

『風水害時の避難行動に関する周知・啓発』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

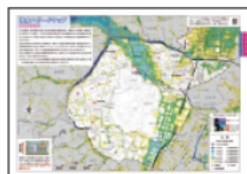
(1)避難体制等の強化

①ハザードマップの改良・周知等

※別紙「各対策のパーチャート」における分類

ハザードマップで危険な場所を確認 しましょう

区は、洪水や土砂災害等による地域の浸水想定や危険箇所を示したハザードマップを作成しています。マップは、災害対策・危機管理課または各出張所で配布しているほか、区ホームページからも確認できます。



区民のみなさんがとるべき行動

千代田区では、災害の発生するおそれが高まったと判断されたときに、下記の種類の避難情報が発令されます。避難情報は必ずしもこの順番で発令されるとは限りません。また、これらの情報が発令されていなくても、最新の気象情報をこまめに確認し、身の危険を感じる場合は避難を開始してください。

警報レベル	とるべき行動	避難情報等	避難情報等の発令の基準となる水位(目安)
5	浸水や土砂災害のおそれが高くなり、緊急の上昇への避難が必要となる場合(浸水警戒情報)	緊急安全確保	浸水警戒水位
4	浸水や土砂災害のおそれが高くなり、危険な場所から全員避難する(浸水警戒情報)	避難指示	浸水警戒水位
3	浸水や土砂災害の危険が著しく、避難を促す(浸水警戒情報)	避難勧告	浸水警戒水位
2	ハザードマップを見て、避難に備える(浸水警戒情報)	避難準備	浸水警戒水位
1	ハザードマップを見て、災害への心構えを高める。	注意喚起	浸水警戒水位

風水害時の避難のポイント

次の場合は早めに安全な場所へ避難しましょう。

想定される災害	避難行動
① 神田川・日本橋川の氾濫 (H1)	丈夫な建物の2階以上へ避難
② 内水氾濫 (H2)	浸水想定区域外へ移動
③ 荒川の氾濫 (H3)	浸水想定区域外へ移動
④ 高層の氾濫	浸水想定区域外へ移動
⑤ 土砂災害	土砂災害危険箇所から離れる

※1 水の上昇が早い場合、避難への避難は早く、建物内での避難が危険な場合は、避難を促す。また、避難先は、避難先が安全な場所であることが確認できる場合、避難先へ避難する。また、避難先が安全な場所であることが確認できる場合、避難先へ避難する。

掲示物の内容(抜粋)

掲示の様子

担当部署	災害対策・危機管理課
連絡先	03-5211-4187
関係機関	

取組概要

区のイベントの場で、風水害時の避難行動に関する掲示を行い、周知・啓発を図った。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・多くの方がお越しになるイベントの場を活用することで、効果的な周知・啓発を図った。
- ・防災に関するアンケートを実施した。

取組による効果

- ・防災への関心があまり高くない方も含め、広く周知することができた。
- ・アンケートを通じて、区の施策の浸透度を確認することができた。

新規

②タイムラインの策定・運用

※別紙「各対策のバーチャート」における分類

荒川の氾濫が想定されているときの避難先

- ① 荒川に「**個人避難所**」の申請書と住所に定着が困難な場合は避難所が指定された地域の避難所へ避難をお願いします。
- ② 荒川に定着しない場合は**荒川台や荒川氾濫避難場所**への避難が最優先となります。

荒川台や荒川氾濫避難場所の避難が困難な場合は避難所へ避難してください。

避難所は「**避難所**」で指定された地域に指定された避難所へ避難してください。避難所は「**避難所**」で指定された地域に指定された避難所へ避難してください。

避難所名	指定された避難所の住所	避難所名
荒川台	荒川台1-1-1 (荒川台1-1-1)	荒川台2-1-1 (荒川台2-1-1)
荒川台	荒川台1-1-1 (荒川台1-1-1)	荒川台2-1-1 (荒川台2-1-1)
荒川台	荒川台1-1-1 (荒川台1-1-1)	荒川台2-1-1 (荒川台2-1-1)
荒川台	荒川台1-1-1 (荒川台1-1-1)	荒川台2-1-1 (荒川台2-1-1)

③ 指定された避難所に避難できない場合は、指定された避難所に避難してください。指定された避難所に避難できない場合は、指定された避難所に避難してください。

『荒川』が氾濫すると… 埴川地区は**全域が浸水**します！

ここにはダメ！ 高台へ逃げる

2週間以上も水が引かない！
被害は想像で済むとも思えない！

台風接近！ 荒川の氾濫に備えて
わが家の避難計画を作成しよう！

マウスタウン

台風接近！ 荒川の氾濫に備えて
1958年の荒川台風の経験が語る…

台風接近！ 荒川の氾濫に備えて
1958年の荒川台風の経験が語る…

台風接近！ 荒川の氾濫に備えて
1958年の荒川台風の経験が語る…

台風が接近しているときに避難所・防災支援情報

- ① **荒川メールマガジン** (荒川メールマガジン) (荒川メールマガジン)
- ② **荒川台デジタルナビゲーター** (荒川台デジタルナビゲーター) (荒川台デジタルナビゲーター)
- ③ **防災行政無線** (防災行政無線) (防災行政無線)

お問い合わせ先: 0120-061-724 (荒川台)

荒川台デジタルナビゲーター

荒川台デジタルナビゲーター

荒川台デジタルナビゲーター

お問い合わせ先: 0120-061-724 (荒川台)

お問い合わせ先: 0120-061-724 (荒川台)

お問い合わせ先: 0120-061-724 (荒川台)

お問い合わせ先: 0120-061-724 (荒川台)

お問い合わせ先: 0120-061-724 (荒川台)

お問い合わせ先: 0120-061-724 (荒川台)

台風接近！ 荒川が氾濫するおそれがあるとき

1

お住まいの最隣計画（マニピュレーション）を作成します！

※ 避難を促すサインなどとの連携計画を「防災安全情報」

災害発生時の対応	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5

※ 警戒レベル1～5は、荒川が氾濫するおそれがあるとき、警戒レベル1～5に分類されます。

※ 警戒レベル1～5は、荒川が氾濫するおそれがあるとき、警戒レベル1～5に分類されます。

※ 警戒レベル1～5は、荒川が氾濫するおそれがあるとき、警戒レベル1～5に分類されます。

台風接近！ 荒川が氾濫するおそれがあるとき

2

お住まいの最隣計画（マニピュレーション）を作成します！

※ 避難を促すサインなどとの連携計画を「防災安全情報」

災害発生時の対応	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5
避難指示等の発令	☐ 避難指示等の発令 ☐ 避難指示等の発令	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	警戒レベル5

※ 警戒レベル1～5は、荒川が氾濫するおそれがあるとき、警戒レベル1～5に分類されます。

※ 警戒レベル1～5は、荒川が氾濫するおそれがあるとき、警戒レベル1～5に分類されます。

※ 警戒レベル1～5は、荒川が氾濫するおそれがあるとき、警戒レベル1～5に分類されます。

担当部署	北区 危機管理室 防災・危機管理課
連絡先	03-3908-8184
関係機関	北区

地域における避難行動計画であるコミュニティタイムラインを作成することで、大規模水害（荒川氾濫）から身を守るための、地域特性を踏まえた避難行動を地域全体で共有することを目的とする。

狩野川台風を経験した町会長から、高台避難の重要性についてのコメントを掲載した。

令和5年3月に対象地区に全戸配布し、高台（分散）避難の重要性を周知する。

『水害からの避難に関する多言語の動画を作成』

新規

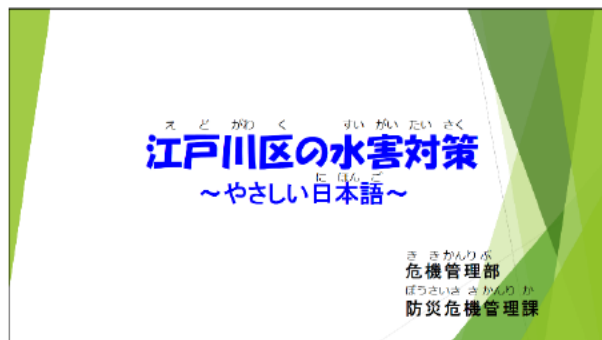
3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1) 避難体制等の強化

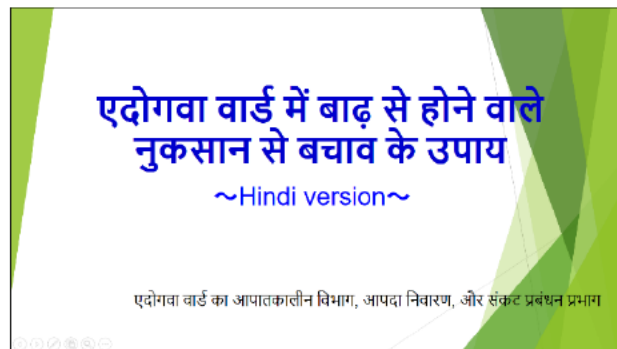
③防災教育や防災知識の普及

※別紙「各対策のパーチャート」における分類

やさしい日本語版



ヒンディー語版



担当部署 江戸川区危機管理部防災危機管理課

連絡先 03-5662-1992

関係機関

取組概要

- ・講演会に参加できない区民及び外国人のために、水害からの避難について説明する動画を作成。
- ・外国人向けに作成した動画は、やさしい日本語、英語、中国語、韓国語及びヒンディー語の5種類となる。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・ネイティブの方に吹き込みをしてもらった。
- ・江戸川区在住の外国人の中で割合が大きい、インド人に向けてヒンディー語も作成した。

取組による効果

- ・区内在住の外国人に対して江戸川区の地勢や水害のリスクを把握してもらい、いざという時に避難行動がとれるようになる。

『京成本線荒川橋梁部水防訓練の実施』

3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1)避難体制等の強化

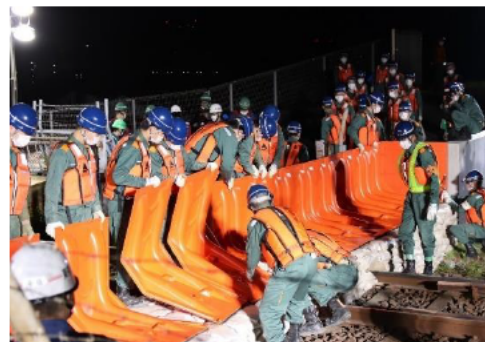
⑩水防活動における連携強化、支援

※別紙「各対策のパーチャート」における分類

① 土のう設置



② 止水板設置



③ 対策完了



担当部署	足立区 都市建設部 都市建設課
連絡先	03-3880-5478
関係機関	荒川下流河川事務所、京成電鉄株式会社、葛飾区

取組概要

京成本線荒川橋梁付近の堤防は、周辺の堤防に比べて低く、戦後最大雨量（3日間流域平均）を記録した令和元年東日本台風による増水で、ピーク時の水位が橋梁桁下約1.2mまで上昇しました。

葛飾区・足立区は「京成本線荒川橋梁部における水防活動手順書」を取り纏め、荒川下流河川事務所・京成電鉄株式会社を加えた4者で水防活動に関する確認書を締結しました。

令和4年5月に水防活動手順書に基づく対策の水防訓練を実施。

取組内容の工夫点・課題・留意点

- ・水防活動手順書に基づき、鉄道の運行停止、軌道敷の安全確認、越水防止対策を実際の現場で実施した。

取組による効果

- ・越水防止対策の妥当性や関係機関との連携方法等を確認・検証した。

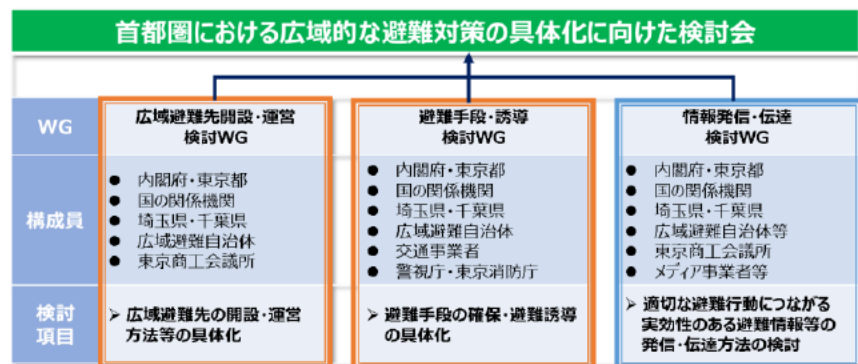
『首都圏における広域的な避難対策の具体化に向けた検討会』

新規

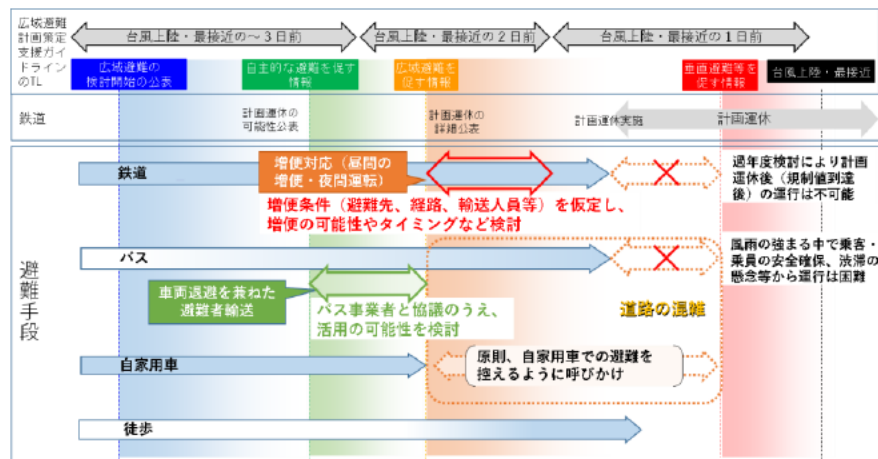
3.被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

(1) 避難体制等の強化

① 命を守るための迅速かつ的確な避難行動のための取組



検討会の構成



検討例（各避難手段を利用するタイミングのイメージ）

※第2回検討会 資料3

担当部署

内閣府 政策統括官（防災担当）
東京都 総務局総合防災部

連絡先

内閣府 03-3501-5693
東京都 03-5388-2486

関係機関

江東5区 他

取組概要

平成30年6月に設置した「首都圏における大規模水害広域避難検討会」において、関係機関と検討を進め、令和4年3月に「広域避難計画策定支援ガイドライン」をとりまとめました。同ガイドラインを踏まえ、広域避難対策のさらなる具体化を図るべく、今年度より「首都圏における広域的な避難対策の具体化に向けた検討会」を設置しました。

取組内容の工夫点・課題・留意点

広域避難先開設・運営、避難手段・誘導、情報発信・伝達について、それぞれワーキンググループを設置して検討を実施中。

取組による効果

広域避難の実効性確保に向けた具体化が進みます。